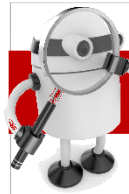




Global Robotics Equity Fund

今、ロボティクスで注目したい3つのポイント



ポイント①

ロボティクスを取り巻く環境は、ここまで進化！

ロボティクスを取り巻く環境は、わずか10年足らずで大きな進化を遂げました。ロボティクスは、今や工場などにとどまらず、私たちの生活にとって不可欠な技術となっています。

ロボティクス技術の
進展と活用例

2015年(当ファンド運用開始)

人手不足解消に向け、産業用ロボットへの期待



産業用ロボット



医療用ロボット

2018年頃

*1 モノのインターネット

IoT*1進展によるロボティクス技術の普及拡大



自動運転技術



スマートホーム

2020年

コロナ禍で活用が急速に進んだロボティクス技術



リモート技術



EC (Eコマース)



ポイント②

ロボティクスはさらなる活用が見込まれる成長余地の大きい投資テーマ

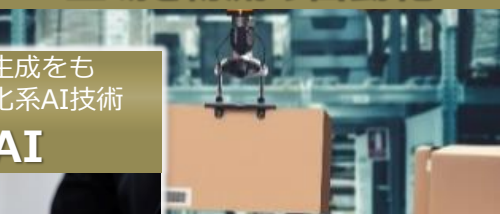
デジタル化がますます進む中、ロボティクスの重要性は一層高まっています。

当ファンドが
着目する
投資テーマ

AI (人工知能) とデジタル化に必要不可欠
データ (データセンター)



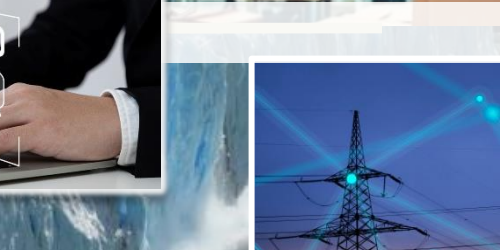
世界的課題「人手不足」への対応手段
工場と物流の自動化



コンテンツ生成をも
可能とする進化系AI技術
生成AI



製造業中心に活用が進む
デジタルツイン*2



生産効率向上や電化技術で貢献
気候変動 (脱炭素)

※上記は資料作成時点における内容であり、今後、変更される場合があります。

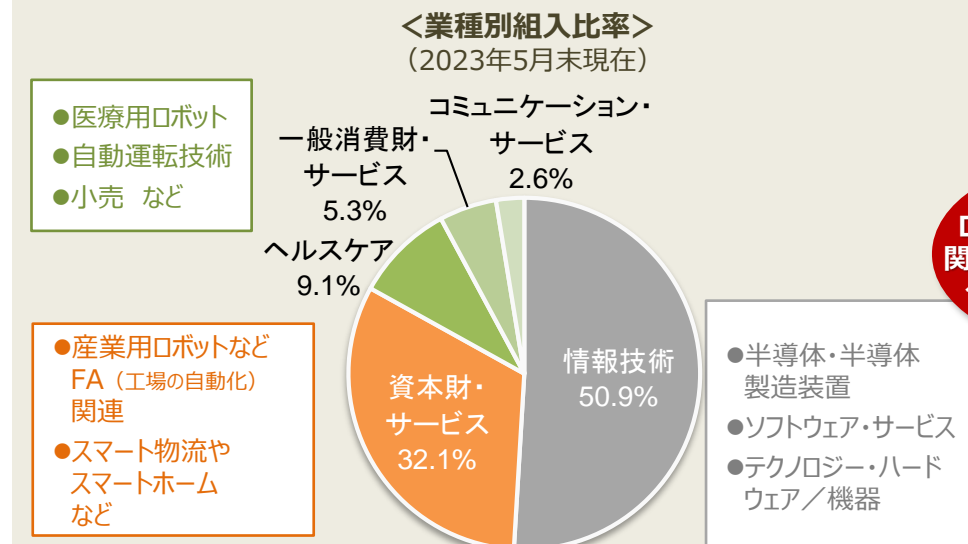
*2 デジタルツイン
様々なものがインターネットでつながるIoTやAI、AR (拡張現実) などの技術を用いて、仮想空間上に現実と同じ環境を再現する技術



ポイント③

「グローバル・ロボティクス株式ファンド」シリーズは、さまざまなロボティクス分野へ幅広く投資

当ファンドは、さまざまな場面で活用されるロボティクスやその技術に着目し、投資機会を幅広く捉えます。



- 医療用ロボット
- 自動運転技術
- 小売 など

- 産業用ロボットなど
FA (工場の自動化) 関連
- スマート物流や
スマートホーム
など

- 半導体・半導体
製造装置
- ソフトウェア・サービス
- テクノロジー・ハード
ウェア/機器

ロボティクスといっても
関連分野や投資対象は
色々あるんですね！



※比率はマザーファンドの組入株式時価総額比です。
※業種は、GICS(世界産業分類基準)のセクター分類です。

お申込みに
際しての
留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】 【流動性リスク】 【信用リスク】 【為替変動リスク】
【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型） / （年2回決算型） / （為替ヘッジあり・1年決算型） / （為替ヘッジあり・年2回決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信 / 内外 / 株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	<1年決算型> / <年2回決算型> 2035年7月20日まで（2015年8月31日設定） <為替ヘッジあり・1年決算型> / <為替ヘッジあり・年2回決算型> 2035年7月20日まで（2017年1月23日設定）
決算日	<1年決算型> / <為替ヘッジあり・1年決算型> 毎年7月20日（休業日の場合は翌営業日） <年2回決算型> / <為替ヘッジあり・年2回決算型> 毎年1月20日、7月20日（休業日の場合は翌営業日）
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%（税抜3.5%）以内 ※購入時手数料（スイッチングの際の購入時手数料を含みます。）は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%（税抜1.76%）
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬（有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55（税抜0.5）を乗じて得た額）などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料におけるファンド名の記載について

当資料では、「グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）」のことを「1年決算型」、「グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）」のことを「年2回決算型」、「グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・1年決算型）」のことを「為替ヘッジあり・1年決算型」、「グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・年2回決算型）」のことを「為替ヘッジあり・年2回決算型」、ということがあります。また、これらを総称して、「グローバル・ロボティクス株式ファンド」ということがあります。